

# 令和6年度 学校評価報告書

## 1 教育目標

独創進取の精神をもって人生を積極的に切り開く力を育てることにより、平和で民主的な社会や持続可能な社会の担い手となる人間の育成をめざす。また、社会に開かれた学校として家庭や地域との交流を深め、ともに教育活動を進めることを旨とする。

## 2 本年度の努力点

- 1 生徒一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じた学びや協働を提供することで、主体的・対話的で深い学びの実現と、多様な人とのかかわりの中で社会に求められる資質・能力の育成を目指す。
- 2 変化する社会情勢に対応しつつ、自他の命を大切にし、自他の存在を尊重しながら社会の一員として自分らしく、たくましく生きることができキャリア教育の充実を目指す。

## 3 評価結果の概要

| 対象   | 項目              | 具体的方策                                        | 評価結果と課題、次年度への改善策等                                                                                                                                                    |
|------|-----------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習指導 | 学習意欲の向上と基礎学力の定着 | 1年生では、基礎学力の定着と学習習慣を身につけさせる。                  | 1学期から夏季休業にかけての学力指導に特に注力した。基礎学力指導においては一定の成果を得たが、学びの基礎診断の結果からは、引き続き低学力傾向が見取れるため、引き続き手厚い指導が必要である。                                                                       |
|      |                 | コース・科目の選択を通じて進路を見据えた選択ができるように指導する。           | 昨年度同様、新2年の指導期間を長くとした点は好評であった。新3年の希望票提出時期については、もう少し遅くならないか、という保護者からの声もあり、調整にかかる時間を考慮すると簡単ではないが、検討する価値はある。                                                             |
|      | 基本的生活習慣の確立      | 学習のサポート体制の充実を図る。                             | 少人数指導の効果もあってか、クラスによって差はあるものの、学校全体としては比較的落ち着いて授業を受ける態勢がつくられてきている。一方、基礎的な学力が十分でない生徒は増加しており、個別指導に多くの時間を費やしている。指導の結果、3年生の単位不認定者・科目は昨年度より少数となった。                          |
|      |                 | 充実した高校生活を送る基礎を固める。                           | 2学期までの遅刻総数を昨年度と比較すると、20%程度増加している。心身に不調を抱える生徒も少なからずいるため、単純に数字だけで議論できるわけではないが、指導の場面では、遅刻することに対して心理的抵抗感を持たない生徒が増えていると感じることがある。個々の生徒に寄り添いつつも、基本的生活習慣を確立させる指導を強めていく必要がある。 |
| 生徒指導 | 生徒指導の共通認識       | 身だしなみやスマートフォン等によるSNSの取り扱いについて指導に努める。         | 名市工ガイドブックに則った共通認識をもって生徒指導に当たることができた。また、指導や支援が必要だと思われる事案においても情報共有を図ることができた。                                                                                           |
|      | 交通安全指導          | 交通安全を徹底するよう指導に努める。                           | 通用門や交通事故発生重点箇所にて立ち番を行い、生徒への声かけを実践した。また、下足ロッカー等、全生徒が通る場所に交通安全啓発ポスター等を掲示し、視覚的にも生徒に交通安全の徹底を促した。次年度も、生徒に交通安全を自発的に意識できる指導を実践していく。                                         |
| 進路指導 | 生徒の希望進路の実現      | 進路相談を重視し、マッチングを高めるような進路指導を行う。                | 進路相談を行い、生徒が興味のある職種を紹介し、希望する進路実現ができた。課題は、卒業後の離職者が無くなるような進路斡旋することである。                                                                                                  |
|      | キャリアガイダンスの充実    | 外部講師による面接講習や講話の企画、就職内定者・進学合格者から下級生への話の場を設ける。 | 卒業生との座談会を開き、面接講座を行うことでキャリアガイダンスを充実できた。課題は、イベントに積極的に参加する生徒を増やすことである。                                                                                                  |

## 4 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

|       |                                                                                 |      |                                                                                      |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| アンケート | 6・11月 学校生活アンケート<br>6・11・12・1・2・3月 いじめに関するアンケート<br>2月 卒業生アンケート<br>学校満足度に関するアンケート | 結果公表 | 5月 PTA役員会・委員会<br>5～3月（毎月）人権いじめ対策委員会<br>職員会議にて結果報告<br>12月 学校評議員会<br>2月 校務分掌総括、自己評価まとめ |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|